

三津浜地区景観まちづくり 第1回勉強会の便り

平成26年12月1日(月)に、三津浜地区の景観に関する「第1回景観まちづくり勉強会」を開催致しました。第1回は、三津浜地区の「景観を知ろう!」をテーマとして、松山市の景観に対する取組みの説明をさせて頂いた後、2グループにわかれ、三津浜地区の好きな景観・残したい景観、良好な視点場、景観上の課題・問題点について、参加者の皆様からご意見を頂きました。

【開催概要】

日時：平成26年12月1日(月) 19:00~21:00
 場所：松山市三津浜支所2階大会議室
 参加者：各種団体(計10名)

勉強会のプログラム

タイムテーブル	プログラム
19:00~19:05 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 開会のあいさつ 職員・スタッフの紹介
19:05~19:20 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会の目的等 景観について 景観に対する松山市の取組等について <ul style="list-style-type: none"> ○景観に対する松山市の取組み ○松山市の景観計画の紹介 ○松山市美しい街並みと賑わい創出事業補助金
19:20~19:25 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> グループワークの進め方の説明
19:25~20:45 (80分)	<ul style="list-style-type: none"> ■グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の好きな場所・残したい場所を話しあおう! ・地区内の景観上の課題を話しあおう! ・景観形成を図る区域を決めよう!
20:45~20:55 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 発表(3班) 締括
20:55~21:00 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 今後の予定、閉会のあいさつ

勉強会の様子



意見交換の様子(1班)



意見交換の様子(2班)



発表の様子(1班)



発表の様子(2班)

■松山市都市整備部都市デザイン課

〒790-8571 松山市二番町4丁目7-2 Tel.089(948)6848 Fax.089(934)1807

ご意見を
頂きました!

地区内の好きな場所・残したい場所(資源)に関する個別意見

1班	2班
<p><海・港灣・川に関するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡し舟 ・内海 <p><公園緑地・山林に関するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡し舟~湊山・観月山 ・支所の芝 <p><歴史・文化に関するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・角田造船所(明治時代の産業遺産があるから) ・丸木醤油 ・古民家が並んだ通り(栄町通り) 等 <p><商業・にぎわいに関するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街(人がすばらしいから) ・三津浜焼き 等 <p><眺望・視点場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・湊三嶋大名神社から三津を眺める ・デビラ通り 等 	<p><歴史的な建物がある風情のある通り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りごとに時代・歴史の移り変わりが感じられるまちなみ ・見返り橋、思案橋等があった歴史のある地区 等 <p><商業・にぎわいに関するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三津浜発祥の地区であり、歴史的な風情が感じられる地区 ・昭和のイメージの通り(昔は賑やかな商店街) <p><眺望・視点場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸・海・島が一望できる ・緩く曲がっている宮前川の眺め(夜がきれい) 等

⇒詳細は、P2, 3を参照

ご意見を
頂きました!

地区内の景観上の課題・問題点に関する個別意見

1班	2班
<p><交通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場不足 ・車が止められない <p><街並み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した住宅 ・乗り捨て自転車がmany 等 <p><人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いい風景を作る町の人の高齢化 ・商店街のオーナーが老年で住んでいるので、新しくなれない <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・猫のフンが多い ・造船エリア(永続的な操業ができるかが課題) 等 	<p><交通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺に観光客の駐車場がない <p><街並み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装がガタガタで歩きにくい ・護岸がごみだらけで、景観を阻害している ・個々の家だけ見ると、不揃いで、歴史的な建物は歯抜けになっている 等 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔に比べれば、水質はきれいになったが、最近ヘドロの臭いがする ・港町であるが、子どもが海にふれるところがない 等

⇒詳細は、P4, 5を参照

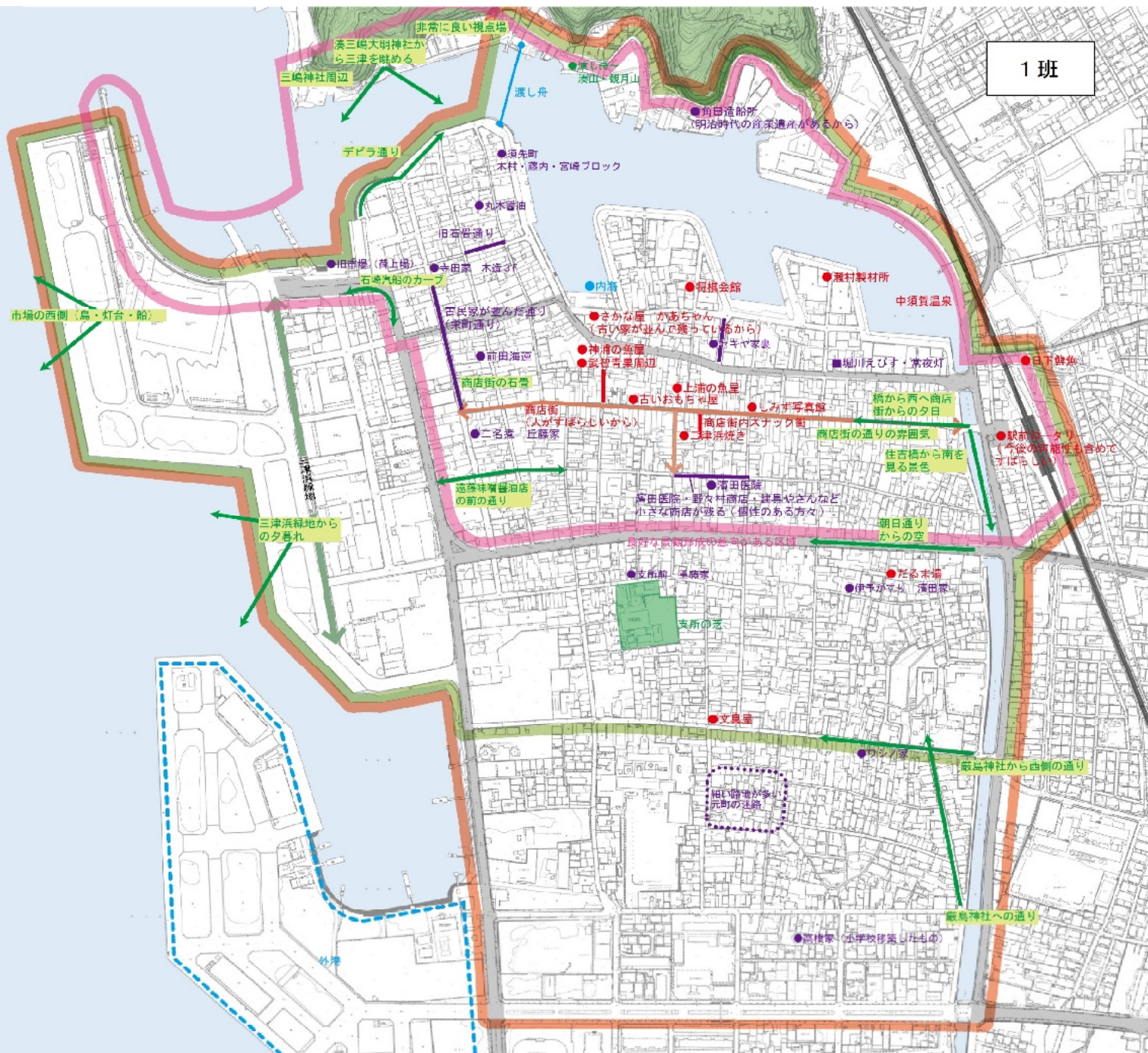
【今後の予定】

平成27年1月28日に開催予定の第2回景観まちづくり勉強会では、今回頂いたご意見をもとに、どのように景観づくりを行っていきたいか、景観まちづくりの方針等についてご意見を頂く予定です。

地区内の好きな場所・残したい場所（資源） 【1班】

資源図

- 青：海・港湾・川に関するもの
- 緑：公園緑地・山林に関するもの
- 紫：歴史・文化に関するもの
- 赤：商業・にぎわいに関するもの
- ← 眺望・視点場
- マークは町家や寺社、近代建築物



2班

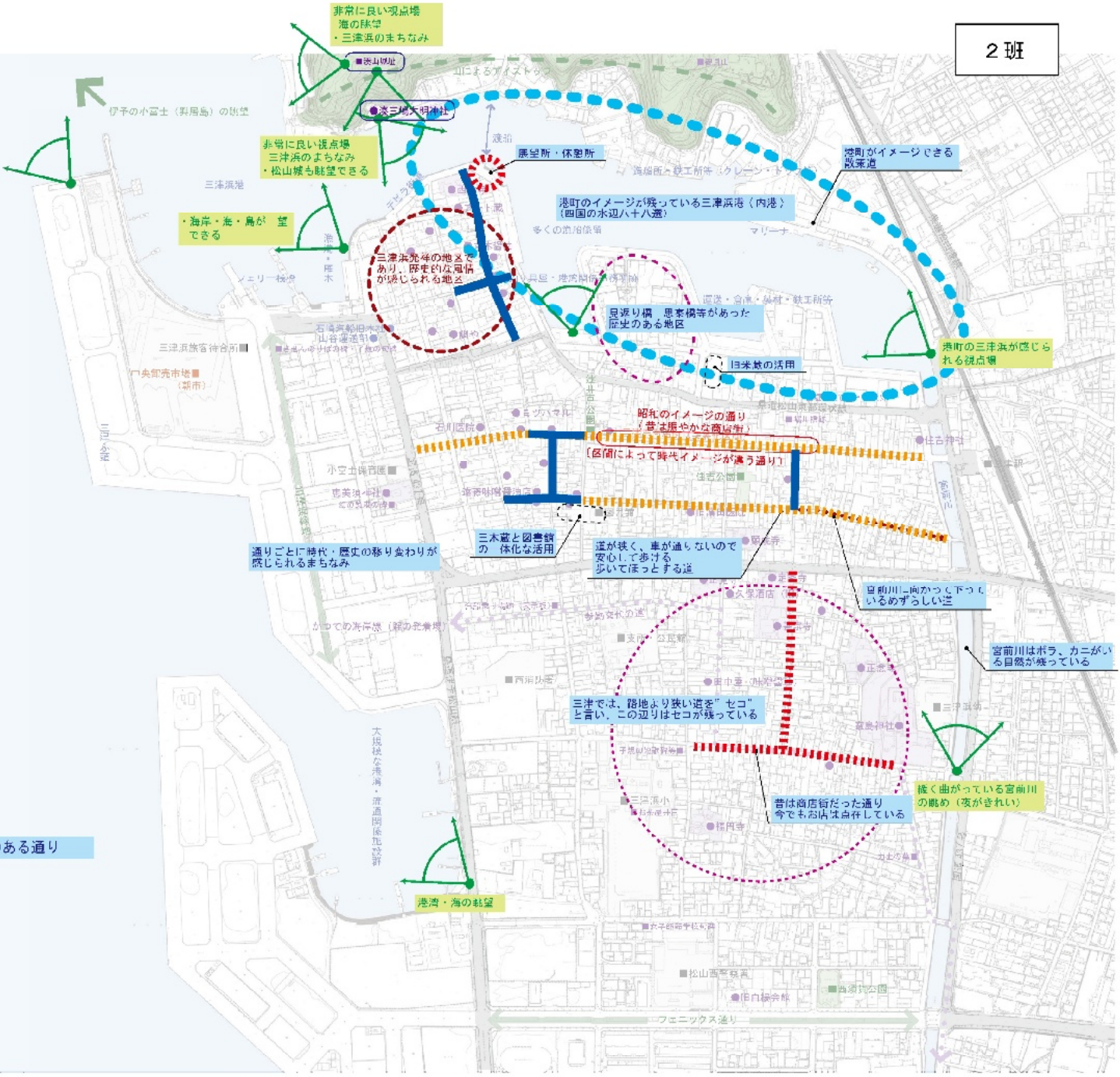
《三津浜 景観づくりの考え方》

- ◇ 区間（通り）やエリアによって時代感が違うので、通りやエリアのイメージに合わせて鑑賞してもらおう。
- ◇ 港町らしさを出すことが必要。
- ◇ 住民の景観に対する意識の向上が必要。
- ◇ 三津浜の歴史に合せた景観づくりの勉強会が必要。

《三津浜 まちづくりの考え方》

- ◇ 港町らしさを出す工夫が必要。
- ◇ 港町三津浜として、水・海との関わりを出していく。（無くしてきたものを復活していく）

歴史的な建物がある風情のある通り



1班

課題図

- 青：海・港湾・川に関するもの
- 緑：公園緑地・山林に関するもの
- 紫：歴史・文化に関するもの
- 赤：商業・にぎわいに関するもの

【共通課題】

- ★まちづくりの視点
 - 何をどうするかが課題
昭和の雰囲気を演出する風景を残すか、災害時の危険性を排除するか
 - 全てがにぎわいづくりのためではなく、閑静な住宅街を作っていくというエリアごとの方針が必要
 - 発想をいかに膨らませるかが重要
- 交通
 - ・駐車場不足
 - ・車が停められない
- 街並み
 - ・空家
 - ・崩壊しかけの家が多い
(道に面したトタンを崩すぐらい)
 - ・家が運んでいたのが一部壊されブルーシートで覆われており、見栄えが悪い
 - ・海岸周りに看板が乱立
 - ・最近できた木の案内板はすぐには無理でも全て撤去してほしい
(何も案内せず歩いてもらうのも魅力の1つだから)
- 人
 - ・いい風景を作る町の人の高齢化
- その他
 - ・猫が多い
 - ・古民家を改修した際の建材などを収納する倉庫がほい
 - ・地区の人にもよく知らないNPO法人が宣伝用の広告(のぼり旗)を至るところに掲出している

